

女性像の世界

吉池青園「作品名未詳（縁側）」大正時代



2023年

2月11日土・祝 - 3月21日火・祝

休館日：月曜日

開館時間：9：00～17：00（入館は16：30まで）

料金：一般 210円(160) 高大生 110円(80)

小中生 50円(40) (20名以上の団体)

同時開催

いま見せたい！

キュレーターズ・
チョイス

curator's choice



伝国の杜

Yonezawa City Uesugi Museum
米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL. 0238-26-8001 FAX. 0238-26-2660
<https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp/>



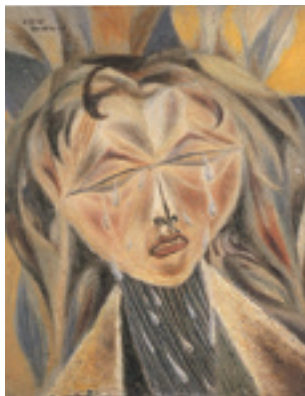


よしせいしやうえん
吉池青園「作品名未詳(もの思い)」大正時代

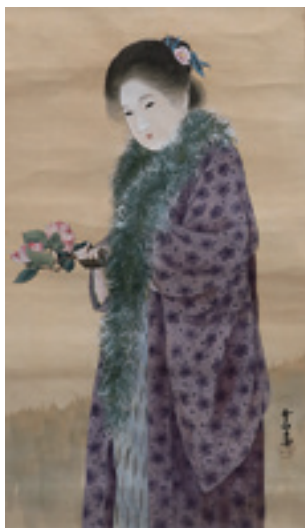


つばきさだ あ さいこ
椿 貞雄「彩子像(赤い帽子)」1955年頃

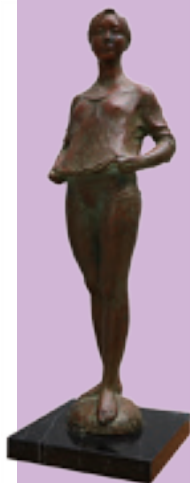
女性像の世界



ほまだ はまお
浜田浜雄「涙は私を明るくする」1951年



いなだ ござん
稲田吾山「美人画」(部分)大正時代



さくらいゆういち
桜井祐一「若い女」
(エスキース)1969年



ごとうかつお
後藤克芳「YOKO」1991年



えんどうせうじゆ
遠藤桑珠「メヒコの女」1977年

時代を問わず、女性が描かれた美術作品は数多く存在します。江戸時代に浮世絵を中心に人気を博した「女性像」は、明治以降「美人画」というジャンルとして花開き、美人画を得意とした女流画家の登場もあって一般にも定着し、その後さまざまな広がりを見せました。この展覧会では、女性像をテーマに当館の収蔵作品を展示します。一言で「女性像」といっても、「美人画」という伝統的な「型」に沿うものから、「型」を離れて個性や自由な表現を重視し、リアルな姿を切り取るもの、身近な存在を活写するものまで、そのあり様は多彩です。広く描かれてきたテーマであるからこそ、それらの「像」が映し出す人間感情や、託された意味、社会意識なども鑑賞の見どころとして紹介します。

同時開催

いま見せたい！
キュレーターズ・チョイス
curator's choice

美術コレクションから、近年収蔵した作品や、「いま、見てもらいたい」作品をご紹介します。

出品作家：石橋和訓 田島征三 鈴木蘭渥 滑川聖二 ほか

◇ギャラリートーク

担当学芸員による展示解説
日時：2月18日(土)9:15～10:00
企画展示室(要入館料)
定員：20名(要事前申込)
*1月10日(火)9:00～受付

◇ナイトツアー 「アートコレクションを楽しむ」

日時：3月10日(金)19:00～20:30 企画展示室
参加費：500円
定員：20名(要事前申込・中学生以下は保護者同伴)
*2月7日(火)9:00～受付

夜の展示室で
ゆっくりじっくり
鑑賞してみませんか？

伝国の杜 ファンクラブ事業 伝国の杜芸術サロンII
お話と作品鑑賞～彩子像によせて～

3月12日(日)18:30～ ゲスト：東 彩子氏(椿 貞雄孫)
対象：ファンクラブ会員と同伴者1名 *1月18日(水)～受付

常設展示室 上杉文華館
テーマ「関東管領上杉氏」

1月31日(火)～2月26日(日)「享徳の乱」
2月28日(火)～3月26日(日)「北条氏との抗争」
コレクショントーク 2/5(日)、3/5(日)各10時～15時～

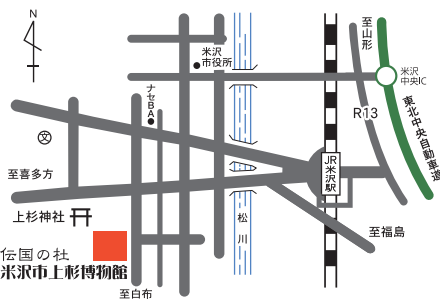
置賜文化ホールからのお知らせ

伝国の杜春待ち寄席
三遊亭小遊三・柳家喬太郎二人会
3月8日(水)18:30開演 前売3,500円(当日4,000円)
問合せ0238-26-2666

次回
展覧会

特別展「上杉景勝と関ヶ原合戦(仮題)」
2023年4月22日(土)～6月25日(日)
※展示替 5月22日(月)～26日(金)

【伝国の杜ファンクラブ会員・サポーターメンバー募集中】
■ファンクラブ…もっと楽しみたい方に！特典いろいろ。
■サポーター…人とつながる自分をいかせるボランティア。



アクセス ■JR米沢駅から2km(上杉神社隣接)
■市内循環バス「上杉神社前」下車
■市内循環バス南回り路線「九里学園前」下車
■東北中央自動車道 米沢中央ICから約4km

米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660
HP <https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>

